



適用範囲

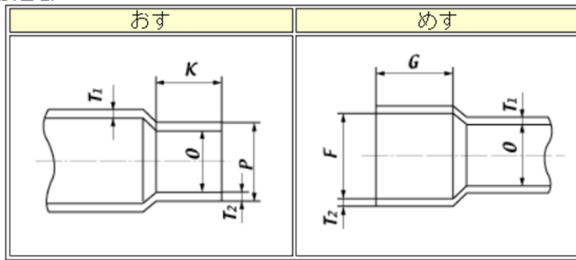
この規格はJIS H 3300の配管用銅管及び水道用銅管並びにJIS H 3330の配管用銅管及び水道用銅管並びにJIS H 3330の外周被覆銅管に差し込み、差ししろ付又は、はんだ付する銅及び又は、はんだ付する銅及び銅合金製の管継手について規定する。

種類及び記号 管継手は、接合部の寸法及び許容差によって2種類とし、種類及び記号は、表による。

JIS H 3401 種類及び記号

種類	記号	接合部	
1種	T	⊙T	めす
	90° エルボA	⊙90EA	めす
	90° エルボB	⊙90EB	めす, おす
	90° エルボC	⊙90EC	おす
	45° エルボA	⊙45EA	めす
	45° エルボB	⊙45EB	めす, おす
	45° エルボC	⊙45EC	おす
2種	T	⊙T	めす
	90° エルボA	⊙90EA	めす
	90° エルボB	⊙90EB	めす, おす
	90° エルボC	⊙90EC	おす
	45° エルボA	⊙45EA	めす
	45° エルボB	⊙45EB	めす, おす
	45° エルボC	⊙45EC	おす

JIS H 3401 接合部



寸法及び許容差

1種の寸法及びその許容差 管継手の寸法及びその許容差は、表による。  
JIS H 3401 1種の寸法及び許容差

呼び径		接合部										最小肉厚 T1又はT2mm	最小内径 Omm		
		おす					めす								
(A)	(B)	基準外径 Pmm	許容差 mm	実測外径		だ円値 mm	最小長さ Kmm	基準内径 Fmm	許容差 mm	実測内径		だ円値 mm	最小深さ Gmm		
				最小値 mm	最大値 mm					最小値 mm	最大値 mm				
8	1/4	9.52	±0.03	9.45	9.59	0.08以下	9	9.62	±0.03	9.55	9.69	0.08以下	8	0.6	6
10	3/8	12.70		12.62	12.78	0.10以下	10	12.81		12.73	12.89	0.10以下	9	0.7	9
15	1/2	15.88		15.78	15.98	0.13以下	12	16.00		15.91	16.09	0.12以下	11	0.8	12
-	5/8	19.05	±0.04	18.94	19.16	0.15以下	16	19.19	±0.04	19.08	19.30	0.16以下	15	0.8	14
20	3/4	22.22		22.11	22.33	0.16以下	18	22.36		22.25	22.47	0.16以下	17	0.9	17
25	1	28.58		28.44	28.72	0.20以下	22	28.75		28.62	28.88	0.18以下	21	1.0	23
32	1 1/4	34.92	±0.05	34.76	35.08	0.24以下	25	35.11	±0.05	34.96	35.26	0.22以下	24	1.2	28
40	1 1/2	41.28		41.08	41.48	0.29以下	28	41.50		41.33	41.67	0.24以下	27	1.3	34
50	2	53.98		53.77	54.19	0.32以下	34	54.22		54.03	54.41	0.28以下	33	1.5	45
65	2 1/2	66.68	±0.08	66.43	66.93	0.40以下	38	66.96	±0.08	66.73	67.19	0.36以下	37	1.7	55
80	3	79.38		79.13	79.63	0.40以下	43	79.66		79.43	79.89	0.36以下	42	2.0	67
100	4	104.78		104.47	105.09	0.52以下	55	105.12		104.83	105.41	0.48以下	54	2.4	90
125	5	130.18	±0.08	129.84	130.52	0.52以下	28	130.55	±0.08	130.26	130.84	0.42以下	25	2.8	110
150	6	155.58		155.19	155.97	0.62以下	33	156.00		155.66	156.34	0.52以下	30	3.1	140

備考

- 呼び径は、(A)又は(B)のいずれかを用いる。
- 1種の接合部の任意の断面で測った最小外径(最小内径)及び最大外径(最大内径)の平均値と基準外径(基準内径)との差は、表に示す許容差の範囲になければならない。
- 1種の接合部の任意の断面で測った最小外径(最小内径)及び最大外径(最小内径)は、表に示す実測外径(実測内径)の最小値と最大値との間にあり、同時に、最大外径(最大内径)と最小外径(最小内径)との差が表のだ円値の範囲になければならない。
- 表のP, K, F, G, T1, T2及びOは、図の各部をいう。